

molift[®]
a part of Etac

モーリフト・スマート150

取扱説明書



この度は「モーリフト スマート 150」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本製品の機能を生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解ください。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などにより予告なく変更する場合があります。
※必ずご購入された製品に梱包されている取扱説明書でご確認ください。

k パシフィックサプライ株式会社

※Kマークは川村義肢株式会社の登録商標です。
※製品に関するお問い合わせは本取扱説明書最終ページをご参照ください。

転載複写厳禁

モーリフト スマート150は、
介助者の負担を軽減し、ご利用者の快適な移乗をお手伝いする床走行式リフトです。
ベッド・車いす間の移乗や床からの移乗にお使いいただけます。

- 軽量、コンパクト、スマートなデザイン
- 簡単に折りたたみため、運搬や保管が簡単です
- 充実した安全機能で安心してお使いいただけます
- 4点ハンガーにより、懸垂時のゆれが少なく快適です

※スリングは別売です。

この取扱説明書では、モーリフト社製「イージースリング」を用いてリフトの操作方法を説明しています。

もくじ

1	安全にご使用いただくための注意事項	3
2	各部の名称と説明	
	・リフト本体について	6
	・付属品について	6
3	仕様	8
4	組み立て方法、折りたたみ方法、運搬方法	
	・組み立て方法	9
	・折りたたみ方法	11
	・運搬方法	13
5	リフトの使用方法	
	・ベッドからの移乗 / ベッドへの移乗	14
	・床からの移乗 / 床への移乗	16
	・車いすからの移乗 / 車いすへの移乗	18
	・安全のための機能	19
	・緊急時の降下方法	20
6	サービスランプ	21
7	バッテリーについて	
	・バッテリーの取扱い	22
	・充電方法	22
8	保守・点検	
	・お手入れ方法	23
	・保管上のご注意	23
	・点検	23
	・廃棄方法	23
9	故障かな?と思ったら	24
10	アフターサービス	25
	保証書	26

1 . 安全にご使用いただくための注意事項

ここに記した注意事項は、本製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですのでよくお読みいただき、正しくお使いください。


リフトをお使いいただく前に


- この取扱説明書の「8.保守・点検」の項目および内容を必ず守り、リフト本体およびリフト関連製品（スリング等）の安全を確認してください。
- 対象者にリフトを使用する前に、介助者は他の人にリフトを使用し、リフトの操作を十分に練習してください。また、介助者はリフトに吊られる体験をしてください。どのように吊られるかを知ることは大切です。ご使用になるスリング全てを使って練習や体験をしてください。

絵表示について


この取扱説明書では様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上本文をお読みください。

<注意事項> 誤った取扱いによって生じることが想定される内容を、危害や損害の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分し、説明しています。必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

<ポイント> この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。

 i	この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。
----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

※レンタルなどで本製品を貸し出す場合には、この取扱説明書も一緒に貸し出してください。

また、説明書をよく読んでから使用するように指導してください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

リフトを使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、内容を理解してください。内容を理解し、実行できない方には操作させないでください。



警告

リフトの導入に際しては、医師や PT（理学療法士）、OT（作業療法士）などにご相談ください。

対象者の身体状況によっては、リフトの使用により症状が悪化する恐れがあります。対象者の症状、身体機能および介助者の機器への適応能力などをご相談ください。



警告

操作は必ず介助者が行ってください。また介助者は対象者を懸垂している間はそばを離れないようにしてください。



警告

子供のいたずらに注意してください。

お子様には触らせないようにし、思わぬいたずらに注意してください。



警告

体重が 150kg を超える方にはご使用にならないでください。

モーター スマート150の耐荷重は 150kg です。体重が 150kg を超える方には絶対に使用しないでください。



警告

安全のために、ご使用前に必ずリフトと付属品の点検を行ってください。（「8.保守・点検」参照）何か異常を発見した場合にはただちに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



警告

次のような症状が発生したら、リフトの電源をただちにお切りください。

- ・電気装置やケーブル、または電気絶縁部の破損
- ・安全装置の破損、欠陥



警告

製品の分解、改造やお客さまによる修理はしないでください。

発火、感電、事故、けがの原因になる恐れがあります。故障の際にはお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。



警告

充電器のコードは、傷つけたり重たいものを載せたり無理に曲げたりしないでください。

コードを傷め、火災や感電の原因になります。



警告

リフト本体や充電器に水などの液体をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。

リフトは防沫仕様ですが、常時水を使用する場所や湿気の著しい場所で使用、保管しないでください。故障や感電の原因となります。



警告

浴室内で充電しないでください。

感電する恐れがあります。



警告

リフトは操作ハンドルを持ち、押すもしくは引いて移動させてください。

懸垂中の対象者やアーム、支柱を持って移動させないでください。



警告


傾斜地での移動、昇降や段差の乗り越えは行わないでください。


傾斜している場所やカーペット上での移動、敷居の乗り越えなどを行おうとするとリフトが転倒し、けがにつながる恐れがあります。





警告


リフトを使用する前に、支柱が適切に固定されているか、ロッキングハンドルがしっかりと締められているかご確認ください。


 **警告** リフトで懸垂する際には、スリングの4つのストラップがリフトのフックにかかっていることをご確認ください。
4つのストラップ全てが確実にフックにかかっていないと、対象者がスリングから転落し、けがをする恐れがあります。

 **警告** スリングの取扱いについては、ご使用になるスリングに添付されている取扱説明書をよくお読みください。
スリングの使用前後にはストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどがいないか点検してください。何か異常を発見した場合にはただちに使用を中止してください。


 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------


 **注意** 人以外のものを吊らないでください。
故障・事故の原因となります。


 **注意** リフトは室内温度 10℃から 40℃の条件でご使用ください。
車で運搬する際には車内が 40℃以上になる場合もありますのでご注意ください。
お使いになる場合には室内温度になるまでお待ちください。


 **注意** リフトを組み立てて使用する際には、ハンガーが運搬用フックから解除されるまではアームを動かさないでください。


 **注意** アームや支柱をたたむ際には脚、腕、手などを挟まないようにお気をつけください。


 **注意** 充電が必要になったらすみやかに使用を中止し、バッテリーを充電してください。
使用中にバッテリーが切れた時のために、バッテリーを2個持つことをお勧めいたします。


 **注意** バッテリーを充電する際には、必ず専用の充電器をご使用ください。
誤った充電器をご使用になるとオーバーヒートし、パワーパックを破損する恐れがあります。


 **注意** 対象者が安心して快適に移乗できるよう、声かけをしながら対象者の様子に注意して作業してください。
対象者がすり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。

 **注意** モーリフト スマート150には、モーリフト社製のスリングの使用を推奨します。
モーリフト社製スリングは、4点ハンガー・2点ハンガーの両方に適合する仕様になっています。
その他のスリングは仕様が異なりますので、不適合により懸垂時に不安定になったり、けがや事故につながる恐れがあります。

 **注意** リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車椅子などにぶつからないよう十分にご注意ください。

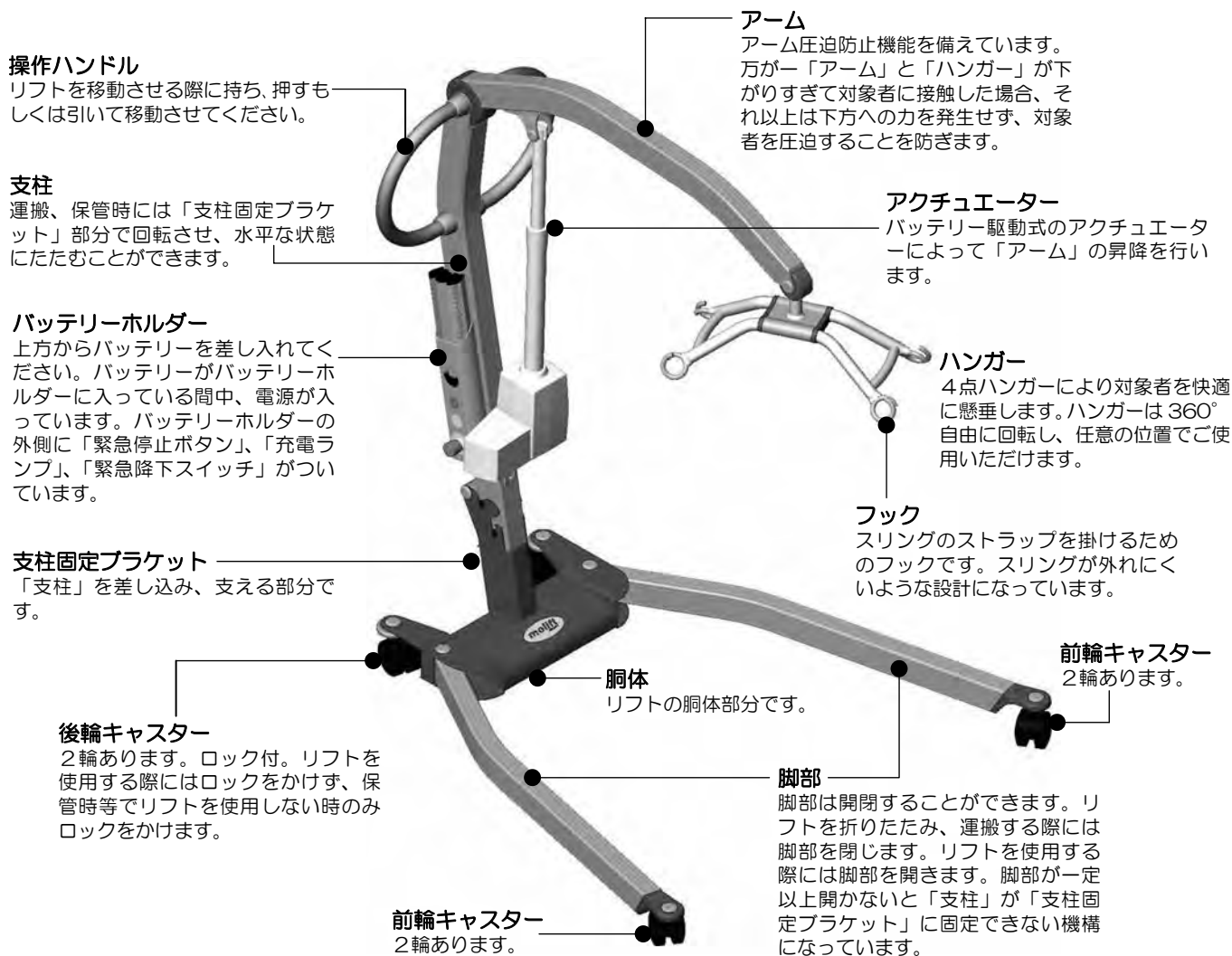
 **注意** 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、ベッドから車椅子へ移乗する際の方向転換など、ごく短い距離の移動のみに使用してください。
車いすなどのように部屋から部屋へ移動する為には使用しないでください。

 **注意** 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、対象者をなるべく低くした状態で移動してください。
重心が低くなり、安定性が増します。可能であれば、対象者がリフトの支柱の方を向くようにし、対象者の足底をリフトの胴体部分に置いてください。またリフトの脚部を開くとより高い安定性が得られます。

 **注意** リフトを使用しない時には、平らで安全なところへ置いてください。
直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

2. 各部の名称と説明

リフト本体について



付属品について

バッテリー

モーリフトパワーパック (14.4V NiMH 2.6Ah)。リフトのバッテリーホルダーや充電器には、白色の▼マークが下向きになる方向に入れてください。



充電器

モーリフトパワーパック (14.4V NiMH 2.6Ah) の急速充電器です。LED ランプで充電中の状況をお知らせします。(P22「7.バッテリーについて」参照)



本体下部

手動降下ハンドル

緊急時、「緊急降下スイッチ」を押しても降下できない場合に使用します。手動降下ハンドルを上方に引いている間、対象者を降下することができます。

運搬用フック

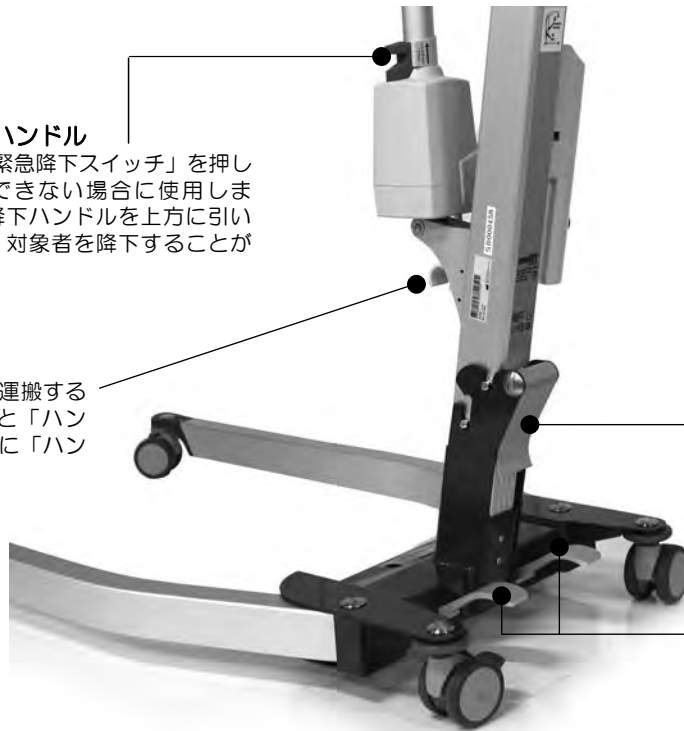
リフトを折りたたんで運搬する場合等に、「アーム」と「ハンガー」が動かないように「ハンガー」を固定します。

ロックハンドル

「支柱固定ブラケット」に差し込んだ「支柱」を固定します。

脚部開閉ペダル

リフトの「脚部」を開閉します。介助者が足で踏んで操作します。リフトは脚部を開いた状態でご使用ください。



コントローラー

「アーム」の昇降を行うボタンがあります。2分間何も操作しなければ、バッテリーの消費を防ぐためスタンバイ状態になります。

上昇用
ボタン
降下用
ボタン



充電ランプ

バッテリーの電圧が低下したことを知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。

【点灯パターン】

	コントローラーの 充電ランプ	本体のバッテリーホルダーの 充電ランプ
接続している場合	点灯	消灯
接続していない場合	消灯	点灯

コントローラーをコネクターに接続しているのに、本体のバッテリーホルダーの充電ランプが点灯する場合は、きちんと接続されていない場合があります。その場合は、再度接続をご確認ください。

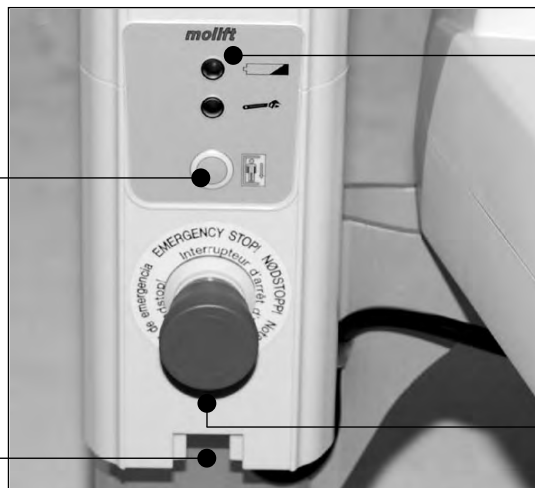
バッテリーホルダー部 拡大図

緊急降下スイッチ

緊急時に対象者を降下させます。スイッチを押している間アームが降下し、スイッチを離すと降下が止まります。

コネクター

コントローラーの接続部分です。



充電ランプ

バッテリーの電圧が低下したことを知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。（※ただし、コントローラーと本体が正しく接続されている場合は、点灯しません）

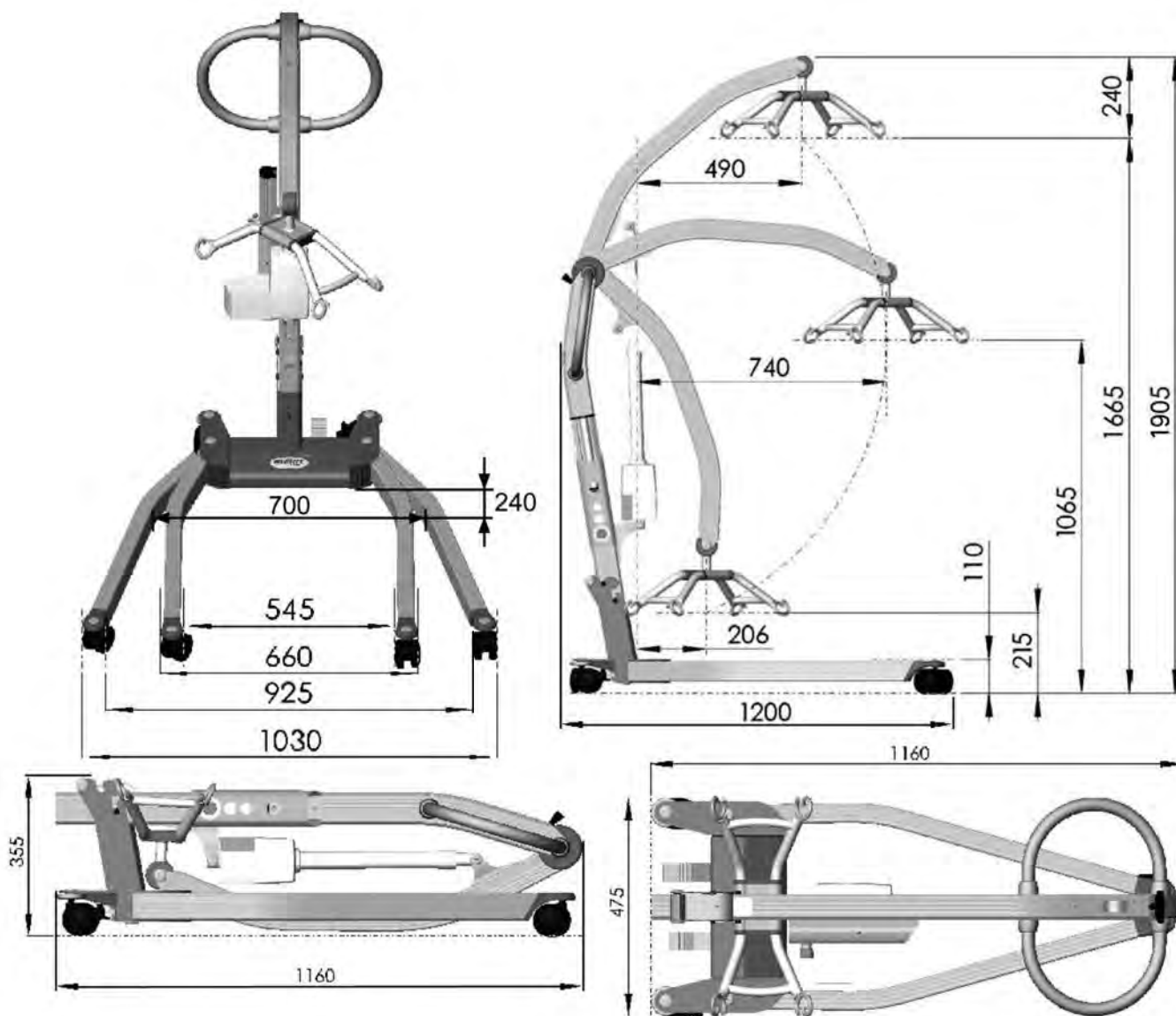
緊急停止ボタン

緊急時にアクチュエーターの電源を切り、リフトを停止させるボタンです。昇降中に緊急停止ボタンを押すとアームの昇降が停止します。緊急停止を解除する場合には、緊急停止ボタンを、飛び出すまで時計回りに回します。

3 . 仕様




重量	: 25 kg (バッテリーを除く) 25.8 kg (バッテリーを含む)
材質	: スチール、アルミニウム、プラスチック
モーター	: DC12 V
バッテリー	: モーリフトパワーパック (14.4 V NiMH 2.6Ah)
耐荷重	: 150 kg
脚部の高さ	: 最大 110mm
折りたたみ時の寸法	: 長さ 1160×幅 475×高さ 355mm
使用時の最大寸法	: 長さ 1200×幅 1030×高さ 1905mm
キャスター	: 前輪 直径 75mm×2輪 後輪 直径 75mm×2輪 (ロック付き)

※下記のイラストの寸法はmm(ミリ)です。



4 . 組み立て方法・折りたたみ方法・運搬方法

組み立て方法

 警告	リフトを使用する前に、支柱が適切に固定されているか、ロッキングハンドルがしっかりと締められているかご確認ください。
 注意	リフトを組み立てて使用する際には、ハンガーが運搬用フックから解除されるまではアームを動かさないでください。
 注意	リフトを自立させた状態で運搬用ゴムを外した場合には、必ず脚部と操作ハンドルを持ち、ゆっくりと下ろしてください。 操作ハンドルのみを持ってリフトを下ろそうとすると、脚部が落下する恐れがあります。

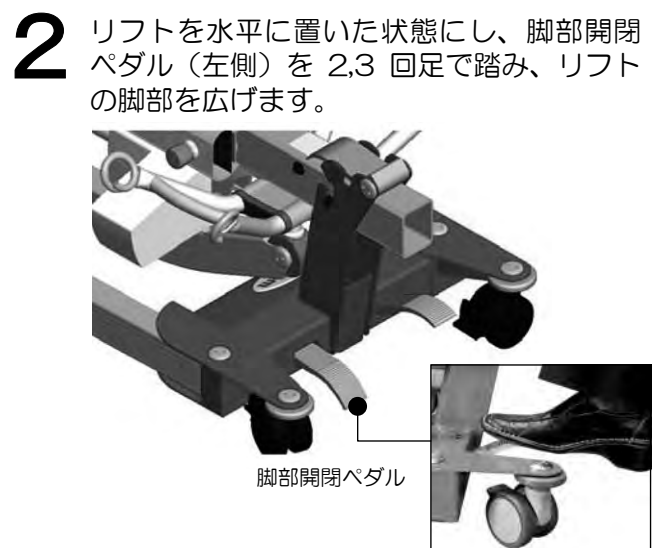
1



折りたたみであるリフトを自立させた状態(左図)、または水平に置いた状態(下図)で、前輪キャスターにかかっている運搬用ゴムを外します。

(運搬用ゴム)
リフトを折りたたんだ際にリフトが開いてしまわないようにする為のものです

2



リフトを水平に置いた状態にし、脚部開閉ペダル(左側)を2,3回足で踏み、リフトの脚部を広げます。

脚部開閉ペダル

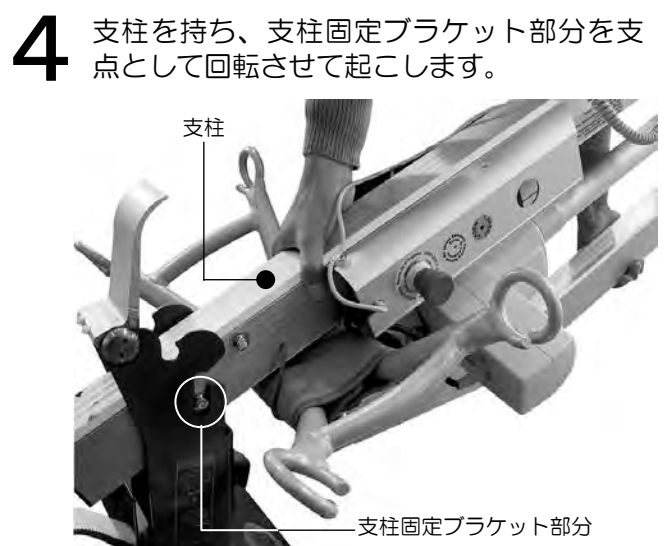
3



ロッキングハンドルを支柱の根元側に回転させます。

ロッキングハンドル

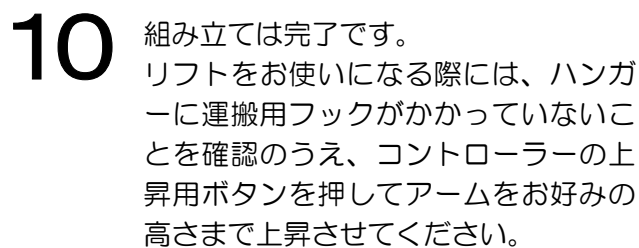
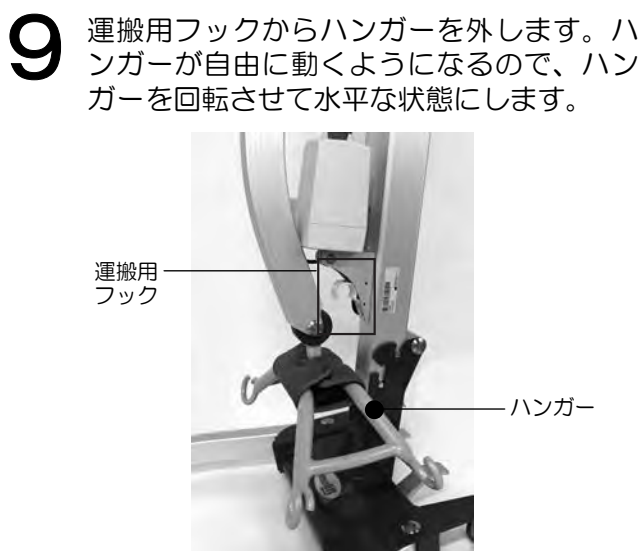
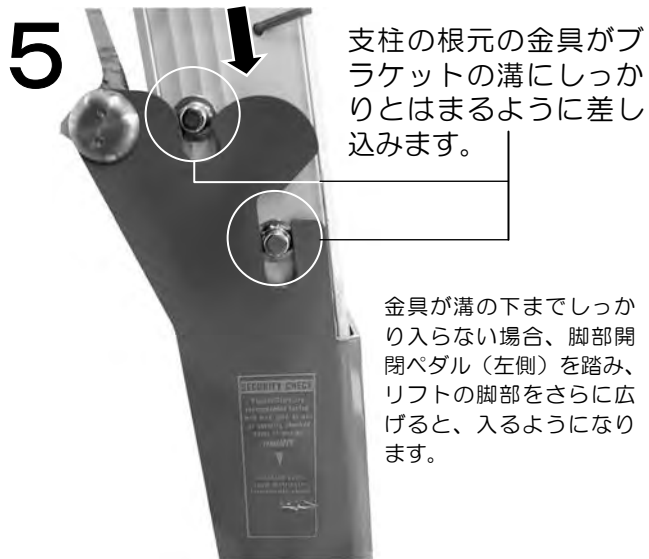
4






支柱を持ち、支柱固定ブラケット部分を支点として回転させて起こします。

支柱

支柱固定ブラケット部分



折りたたみ方法

 注意	アームや支柱をたたむ際には脚、腕、手などを挟まないようにお気をつけください。
	リフトは支柱と胴体部分を分離させることができます。支柱・アーム部分と胴体・脚部部分との2つに分かれます。
	バッテリーホルダーにバッテリーが入っている間中、リフトの電源が入っています。リフトを長時間使用しない場合には unnecessary 放電を避けるために、バッテリーを外しておくか、緊急停止ボタンをオンにしておいてください。

1

降下用ボタン



コントローラーの降下用ボタンを押して、アームを降下します。ハンガーが支柱に当たるまで降下してください。

2

運搬用フックにハンガーをはめこみます。

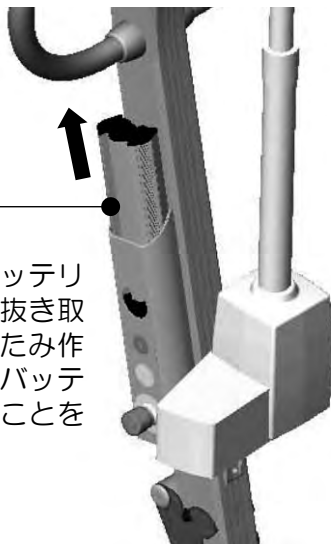
運搬用フック



ハンガー

3

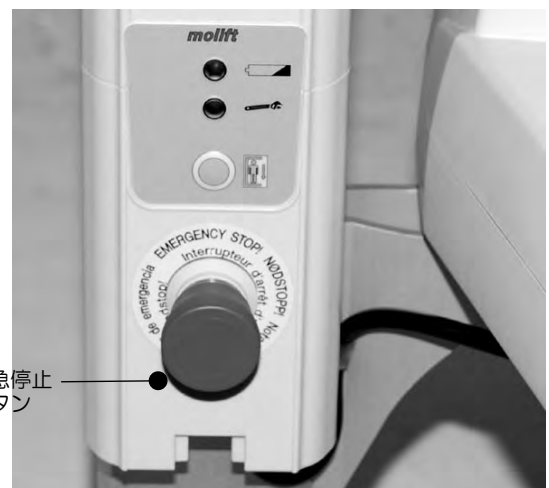
バッテリーをバッテリーホルダーから抜き取ります。折りたたみ作業中や運搬中にバッテリーが落下することを防ぐためです。



4

緊急停止ボタンを押し、オンにします。

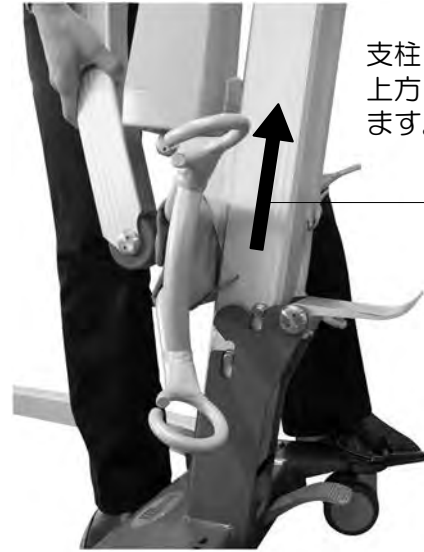
緊急停止ボタン



5 ロッキングハンドルを上方に回転し、支柱のロックを解除します。



6 支柱をまっすぐ上方に持ち上げます。



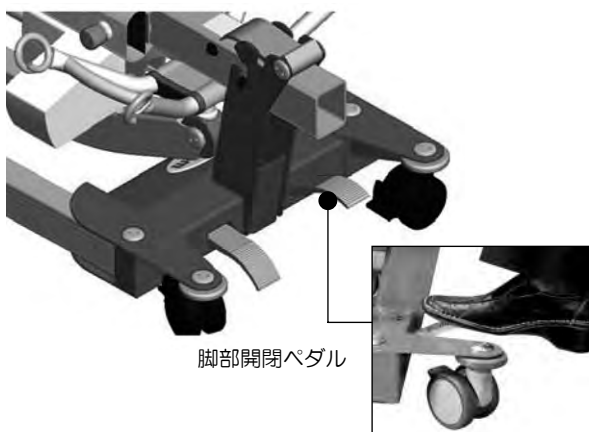
7 ブラケット部分を中心として下方に回転させ、リフトの支柱を水平の状態にします。



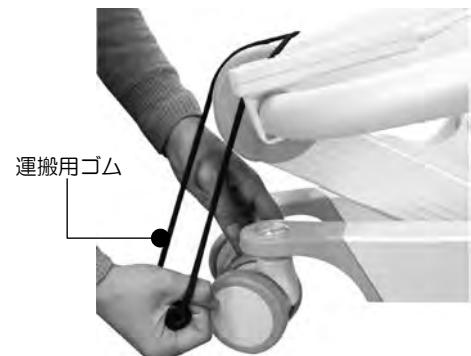
8 ロッキングハンドルを操作ハンドル側に倒しておきます。



9 脚部開閉ペダル（右側）を数回足で踏み、リフトの脚部を完全に閉じます。



10 コントローラーを操作ハンドルにかけ、リフトの脚部をそろえて運搬用ゴムを引き出し、前輪キャスターにかけます。



折りたたみは終了です。リフトを自立させる場合は、脚部と操作ハンドルを持ち、ゆっくり持ち上げてください。

運搬方法



注意

リフトを自立した状態から傾けて運搬する時には、後輪キャスターがまっすぐになっていることを確認してから、リフトを傾けてください。

キャスターがまっすぐになっていない状態でリフトを傾けると、キャスターが破損する恐れがあります。



注意

リフトを運搬する際には、前輪キャスターに運搬用ゴムがかかっていることをご確認のうえ、移動させてください。

運搬用ゴムがしっかりかかっていないと、脚部が落下する恐れがあります。

リフトを運搬する際には、操作ハンドルを持ち、引いてください。後輪キャスターがころがり、簡単に運搬することができます。





後輪キャスター

操作ハンドル






5 . リフトの使用方法

※スリングは別売です。この取扱説明書では、モーリフト社製「イーゼースリング」を用いてリフトの操作方法を説明しています。

 警告	<p>スリングの取扱いについては、ご使用になるスリングに添付されている取扱説明書をよくお読みください。</p> <p>スリングの使用前後にはストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどがないか点検してください。何か異常を発見した場合にはただちに使用を中止してください。</p>
 注意	<p>モーリフト スマート150には、モーリフト社製スリングの使用を推奨します。モーリフト社製スリングは、4点ハンガー・2点ハンガーの両方に適合する仕様になっています。その他のスリングは仕様が異なりますので、不適合により懸垂時に不安定になったり、けがや事故につながる恐れがあります。</p>
 注意	<p>対象者が安心して快適に移乗できるよう、声かけをしながら対象者の様子に注意して作業してください。</p> <p>対象者がすり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。</p>
	<p>2点ハンガー用のスリングをご使用になる場合には、4点あるフックのうち対角線上の2点を使い、2点吊りの状態で対象者を吊り上げてください。(スリングのストラップを対角線上のフックに掛けてください)</p>

ベッドからの移乗

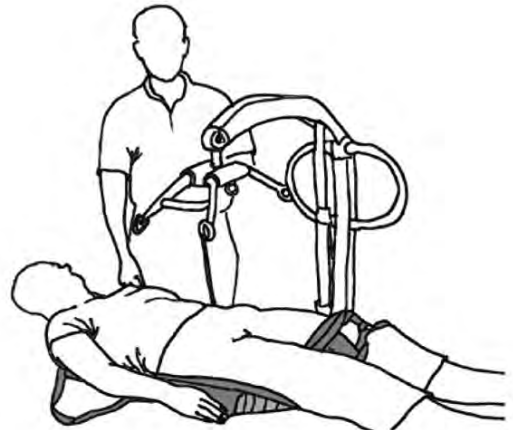
 注意	<p>キャスターが止まったり、傾いたりする原因になりますので、ベッド下の障害物にはご注意ください。</p>
 注意	<p>対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、対象者をなるべく低くした状態で移動してください。</p> <p>重心が低くなり、安定性が増します。可能であれば、対象者がリフトの支柱の方を向くようにし、対象者の足底をリフトの胴体部分に置いてください。またリフトの脚部を開くとより高い安定性が得られます。</p>
 注意	<p>リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車いすなどにぶつからないよう十分にご注意ください。</p> <p>特に動き始めや曲がったり止まったりするときに、対象者が大きく揺れる場合があります。</p>

1 ベッド上で対象者にスリングを装着します。
(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)

※高さ調節機能付きのベッドをお使いの場合には、ベッドの高さを低くします。対象者を高い位置で懸垂しないようにするためです。



2 ハンガーが対象者の体幹の真上にくるように、リフトの脚部をベッドの下に入れます。



3 コントローラーの降下用ボタンを押し、スリングのストラップを掛けられる高さまでハンガーを降下します。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。ハンガーは下図の左のように、対象者にまたがるような状態でお使いください。ハンガーが対象者に対して左右均等にあることをご確認ください。



4 スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部/体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。4つ全てのストラップがフックに掛かっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇用ボタンを押し、対象者の臀部がベッドから離れるぐらいまで対象者を起こしていきます。対象者が起き上がっていく際に位置修正が必要な場合には、スリングの背中側の握り手をお使いください。

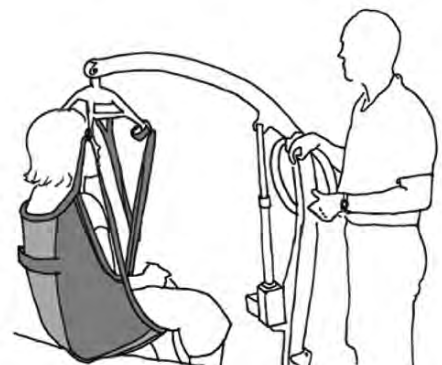


※背上げ機能付きのベッドをお使いの場合には、対象者をより快適に懸垂するため、ベッドの背を上げてください。

5 臀部がベッドから離れたら、コントローラーの上昇用ボタンを離して上昇を止めます。あまり高く上げる必要はありません。対象者の両脚を持ち、支柱の方を向くように回転させます。

6 リフトの操作ハンドルを持ち、リフトをベッドから引き出します。

※移動の際には十分にご注意ください。曲がったり、止まったり、動き始めたりするときはリフトで吊り上げられている対象者は大きく揺れる場合があります。特に家具が置いてある近くでは注意してリフトを移動させてください。



ベッドへの移乗

- 1 リフトの操作ハンドルを押し、対象者を懸垂した状態のリフトの脚部をベッド下に入れます。このとき対象者の臀部や脚がベッドに当たらないようご注意ください。リフトは、対象者をベッドの中央に降ろすことができる場所に位置します。キャスターはロックしないでください。
- 2 コントローラーの降下用ボタンを押し、静かに対象者をベッドに降ろしていきま。対象者の体重がスリングにかからなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを下降させてください。ハンガーが対象者に当たらないようご注意ください。
- 3 対象者の足がベッドの下端（フットボード側）を向くように対象者を回転させます。
- 4 スリングのストラップが十分にゆるんだら、ストラップをフックから外します。（スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください）



床からの移乗

床からの移乗の方法は、『ベッドからの移乗』の項目をご参照ください。

- 1 ベッド上で装着する場合と同様に床上の対象者にスリングを装着します。（スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。）対象者の頭や首を適切に保護するため、頭部の下に枕を入れてください。
- 2 リフトを対象者の近くに移動します。床から対象者を吊り上げる方法は下記のように2通りあります。
 - A) 図1のように、対象者の両脚の間に支柱がくるようにリフトを位置します。
 - B) 図2のように、対象者の頭部をリフトの胴体部に乗せます。必ず枕をご使用ください。
- 3 コントローラーの降下用ボタンを押し、スリングのストラップを掛けられる高さまでハンガーを降下します。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。ハンガーは、『ベッドからの移乗』の項目にあるように、対象者にまたがるような状態でお使いください。ハンガーが対象者に対して左右均等にあることをご確認ください。
- 4 スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部／体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。
- 5 4つ全てのストラップがフックに掛かっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇用ボタンを押し、床から対象者を起こしていきます。対象者をあまり高く上げる必要はありません。
- 6 2で頭部をリフトの胴体部に乗せて対象者を起き上がらせた場合、リフトを移動する前に、対象者が支柱の方を向くように回転させてください。

図1

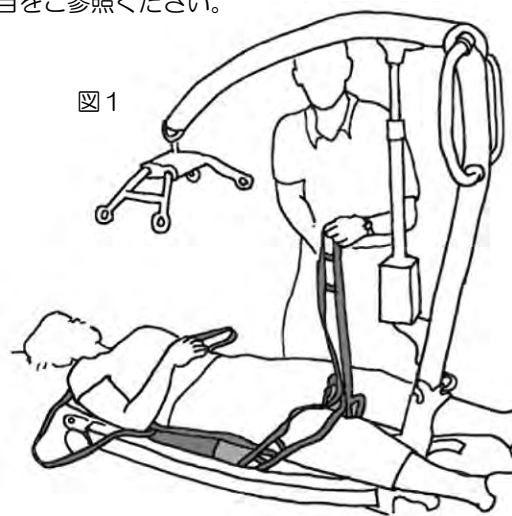


図2



床への移乗

床への移乗の方法は、『ベッドへの移乗』および「床からの移乗」の項目をご参照ください。

1 対象者を降ろす場所が安全であることを確認します。対象者の頭と首を守るため、対象者を降ろす場所に枕を置きます。

2 コントローラーの降下用ボタンを押し、静かに対象者を床に降ろしていきます。対象者を床に降ろす方法は、『床からの移乗』と同様に2通りあります。

A) 図1のように、両脚の間に支柱がくる向きで対象者を降ろします。

B) 図2のように、対象者の向きを変え、リフトの胴体部に対象者の頭部を降ろします。

3 コントローラーの降下用ボタンを押し、静かに対象者を床に降ろしていきます。対象者の体重がスリングにかからなくなり、ストラップが十分ゆるむまでハンガーを下降させてください。ハンガーが対象者に当たらないようご注意ください。

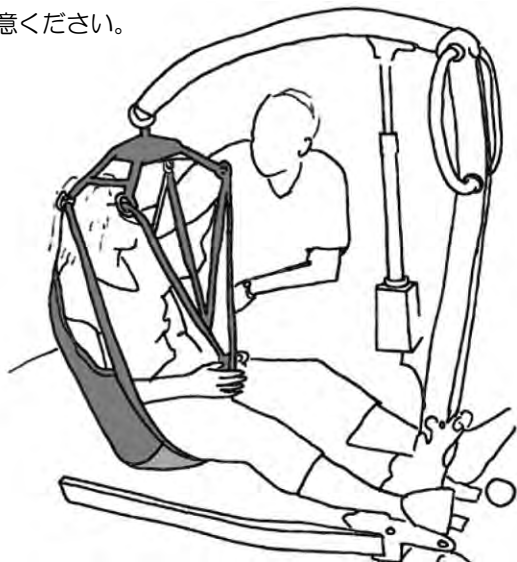


図1

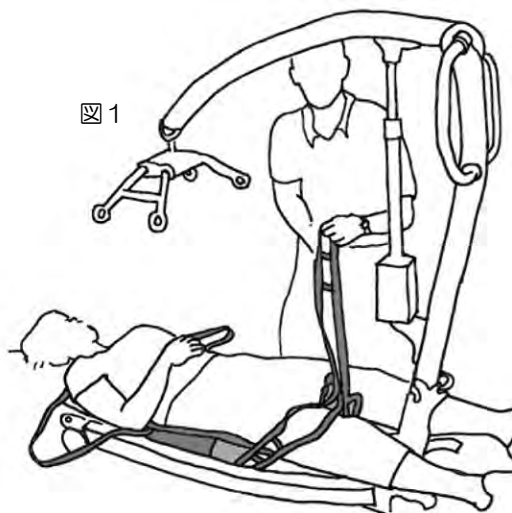


図2



4 スリングのストラップに対象者の重さがかかっていないことを確認のうえ、ストラップをフックからはずします。

5 対象者に当たらないように注意してリフトを遠ざけ、スリングを対象者から取り外します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)

車いすからの移乗



注意

車いすから移乗する場合には、車いすのブレーキがしっかりとかかっていることをご確認ください。

1 車いす上で対象者にスリングを装着します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください) (図1)

2 ハンガーが対象者の大腿部の上方に位置するように、リフトを車いすに近づけます。ハンガーが対象者に当たらないようお気をつけください。また対象者に恐怖心を与えないように、ハンガーを対象者の顔よりも低く下げた状態で近づけてください。

3 スリングのストラップをフックに掛けます。頭側のフックに頭部/体幹ストラップ、脚側のフックに脚ストラップを掛けてください。



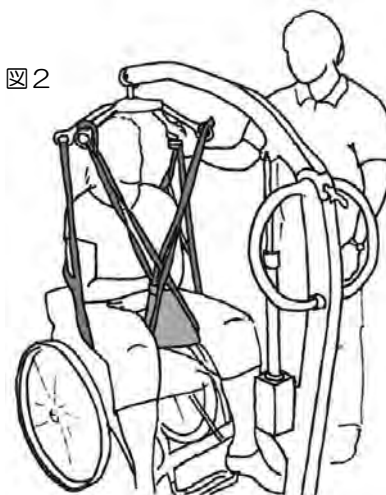
4 4つ全てのストラップがフックに掛かっていることを確認のうえ、コントローラーの上昇ボタンを押して、対象者を上昇させます。対象者の臀部が車いすの座面から離れたところで上昇を止めます。あまり高く上昇させる必要はありません。(図2)

5 車いすを遠ざけます。

図1



図2



車いすへの移乗

車いすへの移乗の方法は、『車いすからの移乗』の項目をご参照ください。



注意

車いすへ移乗する場合には、車いすのブレーキがしっかりとかかっていることをご確認ください。

1 対象者が降りる位置に車いすを準備します。

2 コントローラーの降下ボタンを押して、対象者を車いすに降ろしていきま。下記の方法を組み合わせると対象者を車いす座面の奥に座らせてください。


- 前方から対象者の膝を軽く押す。
- 後方からスリングの後ろの握り手を引く。
- 車いすをキャスターアップする(少し後方に傾ける) ※この場合は車いすのブレーキはかけないでください。


3 車いすの座面に臀部が接したら、ハンガーが対象者に当たらないように注意深くアームを下げていきます。ハンガーを対象者の顔の高さよりも低い位置まで下げるとスリングのストラップがゆるみます。


4 スリングのストラップが十分にゆるんだら、ストラップをフックからはずします。

5 リフトを遠ざけ、スリングを対象者から取り外します。(スリングの着脱方法はスリングの取扱説明書をご覧ください。)

移動する


 警告	傾斜地での移動、昇降や段差の乗り越えは行わないでください。 傾斜している場所やカーペット上での移動、敷居の乗り越えなどを行おうとするとリフトが転倒し、けがにつながる恐れがあります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

 注意	リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車いすなどにぶつからないよう十分にご注意ください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

 注意	対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、ベッドから車いすへ移乗する際の方向転換など、ごく短い距離の移動のみに使用してください。 車いすなどのように部屋から部屋へ移動する為には使用しないでください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

対象者を懸垂した状態でリフトの操作ハンドルを押す、もしくは引いて目的の位置までゆっくり移動させます。安定性を増すために対象者を低い位置で懸垂してください。リフトは脚部を開いた状態で操作するとより安定します。

安全のための機能

 注意	手動降下ハンドルをお使いになる場合は、少しずつ上方に引き上げてください。 一度にたくさん動かすとアームの降下スピードが速くなるのでご注意ください。手動降下ハンドルを突然放すと、けがや事故を防ぐためにアームが停止します。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

モーターリフト スマート150は以下のような安全のための機能を備えており、誤った取扱いによるけがやリフト本体の破損、故障を防ぎます。

- 重量オーバーセンサー
重量オーバーセンサーにより、耐荷重を超えた状態での操作を防ぎます。リフトの耐荷重は 150kg です。耐荷重を超えるとリフトは停止します。
- アーム圧迫防止機能
リフトのアームとハンガーが下がりすぎて対象者に接触した場合、アクチュエーターはそれ以上は下方への力を発生せず、対象者を圧迫することを防ぎます。
- 緊急停止機能
緊急停止ボタン（赤色）を押す（オン）とアクチュエーターの電源を切ることができます。緊急停止ボタンを飛び出すまで時計周りに回す（オフ）と、緊急停止機能が解除されます。
- 緊急降下機能
電子回路の故障等でコントローラーによる降下ができない緊急時に使用します。緊急降下スイッチを押してください。緊急降下スイッチを押している間、アームが降下し続けます。
- 手動降下機能
緊急降下スイッチを押しても降下できない緊急時に使用します。手動降下ハンドル（赤色）を少し上方に引きます。ハンドルを上方に引き上げている間、対象者を降下することができます。対象者を懸垂していない場合などでアームに荷重がかかっていない状態では手動降下機能は働きません。

●スリングのストラップが外れにくいフック形状

ハンガーのフックは、対象者を懸垂中にスリングのストラップが不用意に外れることを防止する形状です。


●異常高温停止機能

電子回路は異常高温になると停止するように設定されております。室内温度 10℃から 40℃の条件でご使用ください。

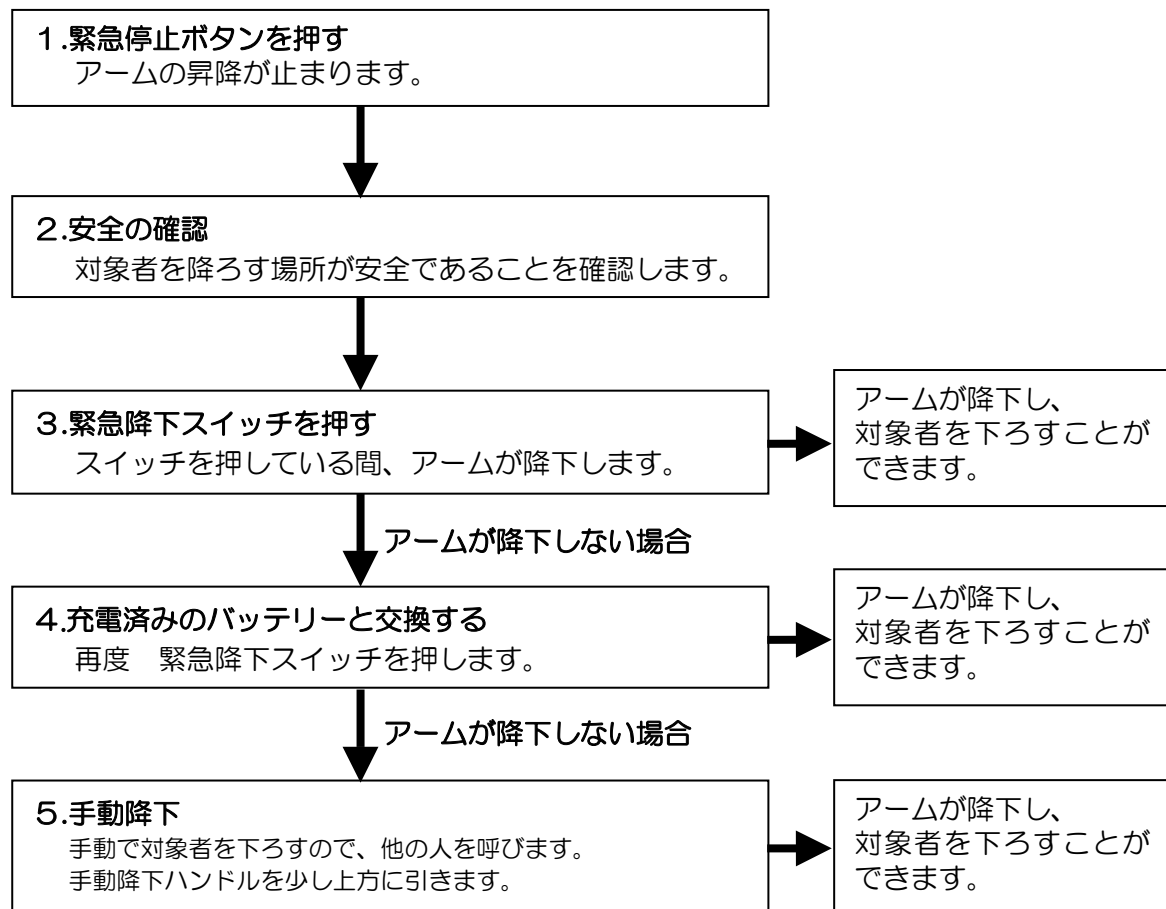
●リフト組み立て時の安全機構

リフトを折りたたんだ状態から組み立てて使用する際に、リフトの脚部を一定以上に開かないと支柱が支柱固定ブラケットに固定できないようになっています。脚部を閉じた状態でのリフトの使用を防ぎます。

緊急時の降下方法

 警告	緊急停止、緊急降下、手動降下の方法がわからなかったり、操作ができない場合にはお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------

コントローラーが効かない等の緊急時には…。



6 . サービスランプ





モーリフト スマート 150 は、リフトの状態を知らせるための LED ランプがバッテリーホルダー上にあります。リフトが使用可能な場合は緑色の LED ランプが点灯します。

一定の期間（概ね 10,000 回）ご使用後、リフトが点検を必要とする LED ランプが点灯します。LED はまず黄色が点灯し、その後 1,000 回使用すると赤色が点灯します。黄色いランプが点灯したら、速やかに販売店へご連絡の上、点検をご依頼ください。点灯と一緒に断続的ピー音も鳴る場合、リフトが至急にメンテナンスが必要であることを意味します。

サービスランプ	状態
点灯なし	パワーセーブ中
緑色	使用可能
黄色	リフトは作動します。サービスを依頼してください。
赤色	定期メンテナンス、又は修理を依頼してください。
赤色+音（断続的ピー音）	至急に修理を依頼してください。








7. バッテリーについて

バッテリーの取扱い

	リフト使用中にバッテリーが切れても、対象者を下に降ろすだけの電力は残っています。
	バッテリーを長くご使用いただくため、充電後に数分間バッテリーを休ませてからご使用になることをお勧めいたします。 また、満充電のバッテリーを使用しないまま再度充電することはお止めください。

- バッテリーは、モーターパワーパック（14.4 V NiMH 2.6Ah）を使用します。
- ご使用前に必ず充電をしてください。
- コントローラーもしくはバッテリーホルダーの充電ランプがオレンジ色に点灯したらバッテリーを充電してください。（この時点では最大負荷で1回の昇降が可能です。）
- リフト使用中にバッテリーが切れることがありますので、バッテリーを2個持つことをお勧めいたします。
- 定期的に(10回に1回程度)コントローラーもしくはバッテリーホルダーの充電ランプが点灯するまで使ってから、充電することをおすすめします。

充電方法

 警告	充電器のコードは、傷つけたり重たいものを載せたり無理に曲げたりしないでください。 コードを傷め、火災や感電の原因になります。
 警告	充電器は室内専用です。浴室や水がかかる場所、ほこりの著しい場所ではご使用にならないでください。故障や感電、けがの原因になる恐れがあります。
 警告	充電器ご使用中、充電器を覆わないでください。
 警告	充電器のカバーは絶対に外さないでください。 感電やけがの恐れがあります。破損や故障の場合には、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
 警告	充電中に何か異常に気づいた場合には、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 警告	バッテリーは定期的に充電を行ってください。 バッテリーを長時間(3~4ヶ月)充電を行わず放置した場合、バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
 注意	バッテリーを充電する際には、必ず専用の充電器をご使用ください。 誤った充電器をご使用になるとオーバーヒートし、パワーパックを破損する恐れがあります。 また、付属のコードは、モーター用充電器専用です。他の機器に接続しないでください。

- 充電器を平らなところに置く、もしくは壁に取り付け、電源プラグをコンセントに差しこみます。充電器の電源は、電源プラグをコンセントに差し込むと入り、外すと切れます。
- バッテリーを矢印の向きに充電器に挿入し、バッテリーと充電器がきちんと接続するように静かに軽く下方へ押しします。
- 数秒すると充電器のLEDランプが黄色からオレンジ色に変わり、充電を開始します。
LEDランプが緑色になれば充電完了です。

LEDランプの色	状態	
黄色	バッテリーなし	充電中 ↓ ↓ ↓
黄色	初期化（10秒間）	
オレンジ色	ファストチャージ	
緑色/黄色（点滅）	トップオフチャージ	充電完了
緑色	トリクルチャージ	
オレンジ色/緑色（点滅）	エラー	もう一度 セットして ください



※使いはじめは、コードが床にふれますが、バッテリーを差し込んでいただくとコードが曲がり安定してお使いいただけます。

8 . 保守・点検

お手入れ方法



注意

シンナー、ベンジン、研磨剤等はリフトの表面を傷つける可能性があるため、使用しないでください。また溶剤を直接リフトにかけないでください。

- リフト本体やコントローラー等が汚れたときは柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤に浸した布をかたく絞って拭いてから乾いた布で拭きとってください。
- 消毒をされる場合にはイソプロピルアルコールをご使用ください。

保管上のご注意



注意

リフトを使用しない時には、平らで安全なところへ置いてください。直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

- リフトを長時間使用しない場合にはバッテリーを取り外しておくか、緊急停止ボタンをオンにしておいてください。

点検



警告

安全にお使いいただくために、必ず定期的な点検を行ってください。リフト本体やバッテリー、スリング等の劣化・交換時期は使用状況により異なります。異常がある場合はすみやかに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

- 下記の項目について毎日あるいは月1回程度、必ず点検を行ってください。

頻度	点検項目	点検内容
毎日	バッテリーの充電	充電ランプがオレンジ色に光っていないか確認してください
毎日	スリングの劣化	スリングに破れ、縫い目のほつれ等がないかを確認してください
随時/月1回	汚れ	操作ハンドルやコントローラー等の汚れをふき取ってください
月1回	コントローラーの接続	コントローラーの接続部分がきちんと接続されているか確認してください
月1回	本体、充電器の劣化	コントローラー、アクチュエーター、充電器のケーブルに傷などがないか確認してください
月1回	アームの動き	アームを上下に動かして正常に動いているか、変な音がしないかなどを確認してください
月1回	キャスターの動き	キャスターから髪の毛やごみを取り除き、動きが正常か確認してください

廃棄方法

- モーターリフト スマート150を廃棄される場合には、各自治体の規則に従ってください。

9 . 故障かな? と思ったら

修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症状	考えられる原因と対処方法	参照ページ
支柱がぐらつく	ロッキングハンドルがゆるんでいるか、もしくは支柱が支柱固定ブラケットにきちんと入っていない可能性があります。 ⇒支柱をしっかりブラケットに挿入し、ロッキングハンドルを締めてください。	10
支柱が固定できない	リフトの脚部が閉じていて安全機構が働いている可能性があります。 ⇒リフトの脚部を開いてからブラケットに差し込んでください。	9
アーム（アクチュエーター）が動かない	バッテリーを入れ忘れていた可能性があります。 ⇒バッテリーホルダーにバッテリーを入れてください。	10
	バッテリーが切れている可能性があります。 ⇒充電ランプがオレンジ色に点灯していたら充電済みのバッテリーと交換するか、充電してください。	6
	緊急停止ボタンがオンになっている可能性があります。 ⇒緊急停止ボタンを時計回りに回して、緊急停止を解除してください。	6
	コントローラーのコネクターが外れている可能性があります。 ⇒コネクターを差し込んでください。	6
	過荷重の恐れがあります。 ⇒モーターリフト スマート150の耐荷重は 150kg です。	19
アームが上昇しない	ハンガーに運搬用フックがかかっている可能性があります。 ⇒運搬用フックを解除してください。	10
アームが下降しない	ハンガーが何かに当たってアーム圧迫防止機能が働いている可能性があります。 ⇒ハンガーが対象者に当たっていればアームを上昇させてください。ハンガーの下に障害物があれば除去してください。	19
リフトの移動ができない	後輪キャスターがロックされている可能性があります。 ⇒後輪キャスターのロックを解除してください。	6
運搬時にリフトが開いてしまう	運搬用ゴムが外れている可能性があります。 ⇒運搬用ゴムを前輪キャスターにかけてください。	12

10 . アフターサービス

保証書

本製品には保証書を添付しております。販売店名、購入日などが記入されているか内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

本製品の保証期間はご購入の日から2年間（バッテリーは1年間）です。

消耗品、スリング（別売品）は保証の対象外です。

修理

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。もう一度ご確認ください。それでも異常があるときはすみやかにご使用を中止し、ご購入の販売店または弊社までご連絡ください。

【保証期間内】

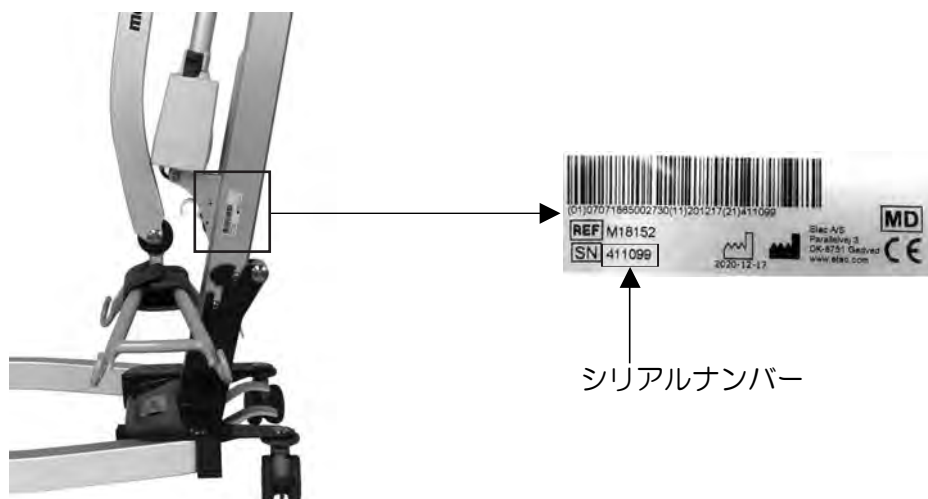
修理の際に保証書をご提示ください。保証規程に従って修理いたします。

【保証期間が過ぎているとき】

修理できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

修理をご依頼される際に連絡していただきたい事項

- ・ 製品名、シリアルナンバー（リフト胴体部に記載）



- ・ お買い上げ日（保証書に記載されている年月日）
- ・ 故障または異常の内容
（どのように使用していたら どうなったなど、できるだけ詳しく）
- ・ 施設名、お名前、ご住所、電話番号

※アフターサービスについてご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

保証書

本製品は、当社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一製品開封時に不良がございましたら保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に本保証書を添えて弊社またはご購入の販売店までご提出ください。

品名	モーリフト スマート150				
お客様	ご住所 〒				
	(フリガナ)	TEL			
	お名前				
ご購入年月日		西暦	年	月	日
販売店名					
保証期間	2年間（バッテリーは1年間）				

- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ご購入年月日、お客様の欄及び販売店名に記載のない場合は、無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。
- この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品のご使用中に故障又は不具合が発生した場合、弊社もしくはご購入の販売店までご連絡ください。
- 保証期間が過ぎた後の故障等についてご不明な場合、弊社もしくはご購入の販売店までお問い合わせください。

保証規程

1. 保証期間はご購入年月日から2年間（バッテリーは1年間）です。保証期間内に発生した故障については、無償修理いたします。
2. 保証の対象となる部分はこの商品一式です。ただし、各部の消耗・劣化による故障、損傷は除きます。
3. 無償修理には、保証書の提出を要します。
4. 次の場合には保証はできませんが、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - (1) 保証書を紛失された場合
 - (2) 取扱説明書に記載されていない誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造・分解による故障・損傷
 - (3) 火災、地震等の天災地変による故障・損傷
 - (4) ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷
5. ご相談窓口は、弊社営業所またはご購入の販売店にて承ります。
6. 保証書の保証対象とならない故障および損傷についても弊社の責任に帰する場合は、保証期間にかかわらず、無償修理いたします。
7. その他
 - (1) 保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - (2) 保証書の再発行はいたしません。
 - (3) 送料につきましては、保証期間内は弊社負担、保証期間外はお客様負担とさせていただきます(保証規定6.の場合を除く)。

●輸入・販売元  **パシフィックサプライ株式会社**
本社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1 TEL (072)875-8008 FAX (072) 875-8010

＜awamura アカデミー

Managed and Operated by Pacific Supply

好きな場所で好きな時に… いつでも閲覧可能なE-ラーニングシステム
Kawamuraアカデミーに、モーリフトカレッジが開講しています。モーリフトに
関する特徴や使用方法、使用例について講義（動画）を好きな時に好きな場所で、
ご自由にご視聴いただけます。

ご登録はモーリフト特設ページから…



● 輸入・販売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

TEL 072 (875) 8008 FAX 072 (875) 8010

<https://www.p-supply.co.jp/>

販売店